

令和2年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	殆んどの方が、住宅を再建しており、また稼働年齢層の方々は殆んど職に就いており、被災者の生活は回復している。ただ、新たな問題としてコロナの影響が出て来ている。これが大きな問題である。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅の撤去準備(作業)が進んでいる。住宅地等の整備がほぼ完了した様に見受けられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建が進み生活環境は回復したと思う。これからは地域活性化のためコミュニティー活動をどう進めるか課題であると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年末、中国武漢市から発生した新型コロナウイルスの感染拡大を受け、緊急事態宣言で約3ヶ月間は一日一歩、三日で三歩、三歩進んで五歩戻る、の状況だと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	人口も少なくなりこれ以上は無いところまで進んで、落ち着いたと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	再建も済み、ほぼ元の生活に近づいている様に思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅再建もほぼ済み、暮らしの面での生活は安定して来たように思われる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	仮設に住んでいた被災者もほとんどが復興住宅や新しくお家を建てて仮設生活から抜け出せている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	三陸沿岸道路の建設が進められて、交通手段が改善しつつある。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災を理由とした求職者はほとんどない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・地域の人達の住まいが、持ち家であれ、災害公営住宅であれ、みなさんが確定している。 ・公民館活動においても、新たな班編成の基で行なわれている。 ただいつも思うことであるが、それぞれの世帯において、年金だけの生活者や、パート収入など、収入面の違いによって、豊かな世帯、苦しい世帯と格差がある。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仕事～被災前同様何らかの仕事についている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	新型コロナの影響で経済活動が停滞している状況にありながら、先日大槌町では町内飲食店で利用可能なクーポン券が販売されたが、販売時には購入希望者で長蛇の列ができ、販売予定枚数が完売となり、急遽、追加販売も行われ、こちらも即日完売となった状況を見ると、被災地での生活振りもだいぶ改善されてきていると感じている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	9割以上は自宅再建や復興住宅の入居が決まり安定した生活をしている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	順調に回復している。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の防潮堤がほぼ完成。復興道路工事が着々と進んでいる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈市内は震災によって影響を受けた方は限定的であり、震災によって影響を今までも受けているかはよく分からないため。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	・住宅環境が整ってきている。 ・雇用に関しては漁業のためあまりよく分からないが、仕事がないと言う声を聴くことがないので回復しているのではないか。 ・養殖の作業のために時期的に3日～2週間程度人夫を頼んで作業をお願いしているが、高齢化や期間的な作業であること、早朝からの作業等のため、なかなか人を集められず大変である。漁師自らがお願いするには限界があるため、策を考えていかなければいけないと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	・災害公営住宅建設の終了。 ・仮設住宅の撤去。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	普段の会話の中で「あの頃は大変だったねエ」等の過去形の表現に変わって来ていると感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	(1)仮設住宅が撤去された跡地を見ると、新しい生活が営まれているんだなあ、と感じる。反面、コミュニティの形成、再成については課題があると思う。 (2)6ヶ月前位には、既に「回復した」感じがあったので、そこから考えると進んでいないわけでもなく、進んでいるわけでもない。なので分からない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	すでに回復していると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	直接、周囲の方と話し合う時間はあまりないが「被災からの回復」という点では回復したように感じる。過疎化が進んでいる中で、市民も行政も努力していると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	被災した方々は高台などの公営住宅に転居したり、自宅を再建し、落ちついて生活できているように思える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	平成30年7月及び31年1月調査とほぼ同じ理由のため。田老地区の仮設住宅は、一世帯が入居する1棟を残して、あとは全て解体され元の更地に戻った。災害公営住宅にも入居が完了し、自己再建の住宅も建ち揃い、住まいの確保は出来たように感じられる。一方、人口の流失や減少による地域の過疎化は止まらず、限界集落に近づきつつある。人口は3,000人を割り、震災前の67%まで減少している。雇用の場は回復しておらず、生産年齢層は、流出を続けているのが現状である。田老地区を南北に縦貫する三陸沿岸道路が本年8月には完成し、当地区は通過地になることで、交流人口の減少のみならず、地域経済に及ぼす影響は甚大で、産業の縮小と衰退は避けることが出来ないと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅より家を建て1年以上たったが、高台の宅地はまだ空地が多い。また店舗もなく、まだ自力で動けますが、だんだん大変になっていくと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	大震災から9年多くの皆様に助けられここまで命をつなげてこれた事は有難い。これは被災者皆さんの共通した声であった。ホッと落ち着いて気が付いた事はいつの間にこんなに年を取ったのかと、我れながらびっくりした。それだけ今まで夢我夢中の毎日であった。町中心部の元地には再建した家がまばらで歯の抜けた様な感じで向こう端まで見通せる様な状態である。宅地はあっても高齢のため融資を受けられず、災害公営住宅に入居し土地は空地となっている。駐車場も多くあり、車は疎らに留まっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	空地だった所に建物が増えてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の退去、撤去が始まり、ようやく住民方が一歩踏み込んで、住宅の再建、公営住宅の入居等、落ち着いた住環境になって来ている。復興住宅にせつかく入居しても、家賃が急に高くなり(条例に基づくも)、退去したり、生活が困っている方々も多く聞かれる。救済措置の拡充を図ってもらえれば、より経済的に「安心感」が生まれるのでは？
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ、みなし仮設(AP等)で生活している世帯があるようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	周囲の皆さんの生活再建が成った様な気がする。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設がなくなりつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	かさ上げ地の道路、商店街も整備され、日々、以前のような街になりつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	雇用などについては変化は感じられないが、まだ、コミュニティ形成はできていないと感じる。集う場が少なくなったからではないだろうか？
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路の整備が良くなって来ていると感じた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住環境の再建、雇用とも落ち着きを取り戻し、ここ1年位は大きな変化はないように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	自宅を自力で再建した方と、復興住宅に入居された方では、コミュニティに違いを感じる。特に復興住宅にお住いのお一人暮らしの高齢者の方へのサポートが必要だと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回のいわて復興ウォッチャー調査時点からは、さらに回復は進んでいると思うが、今回のコロナ禍が微妙な影響を与えているように思う。当地区では小学校の統廃合があり、近くにあった私の母校も閉校となり、若干の寂しさを感じているが、少子高齢化の現状を考えれば止むをえない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	陸前高田市は、津波による被害が甚大であったことから回復は遅れている。高台への住宅再建が進んだ一方、区画整理等の遅れから、生活の場を他所に定め、換地後の土地が空地となるケースも少なくない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・住宅を再建出来ていない方が、まだ多数いらっしゃる。 ・新型コロナウイルスの影響により、回復に歯止めがかかった。震災からの回復は見られるが一歩後退した。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転は、ほぼ進んだ。ただ、まだ、空地がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	道路、運動場など完成していること。まだ、防潮堤、市役所ができていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	今はコロナの影響で、また震災の時のような生活に戻った気持ちになった。全てにおいて実感した。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	「被災者の生活」という一点についていえば回復しているし、進んでいると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災における住居や建物の被害については回復してきているほか、平成28年の台風10号による被害についても災害公営住宅の完成に伴い、住環境の再建がなされていると感じられる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅の再建・公営住居入居はおおよそ済んでいるように感じられる。復興に係る工事もだいぶ少なくなってきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	職場等、自分の周りには被災した方々は、自宅を再建するなどして、数年が経っており、生活が落ち着いていると思われる。また、亡くなられたご家族のことについてもお話しされており、会話の中で、自然に出てくるようになってきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設住宅から公営住宅や自宅(再建)へと住まいを移し、住居の方は、ほぼ回復したといえると思う。落ち着いた生活が送れていると感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	盛土して、家を再建できた人々たちが多くみられる。残念ながら、まだ空地もあり、理由は分からないが、昔のような生活の回復が100%なされたとはいえない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	金銭的な支援が切れた方が多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈では住宅の再建も一段落し、生活が安定してきている様に感じる。三陸道の整備が着々と進んでおり、街の活性化とつながることに期待したい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	仮設住宅から一戸建てに移り住んだが、定年になる年代に無職となり、様々なローンの支払で大変と聞いた。高齢世帯が多い印象を受ける。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	ほぼ以前同様の生活をしている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅の新築は、だいたい終わったように思う。(98%位)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	東日本大震災からの回復は進んだのだが、昨年の台風19号で再び被災した方がおり、気の毒。その方達にとっては、全然回復していないと言える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	生活の回復が年々順調に進められてきたこの時点での新型コロナウイルス感染症の発生により、社会全体が変わらざるをえない。その対策の実践を通じて、市民生活が新たな課題におおわれ、震災被害のそれとは別の生きづらさがある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	住むところは確保されたと思う。やはり中々元の場所に住みたいと思う人もいないと聞いた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅の撤去が始まり回復しているようには見えるが、最近では新築現場も少なくなり、鈍化していると思う。また、夏を前に市内の空き地の雑草が目立つように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災後の住環境整備は完了し、その後の台風被害の住環境整備もほぼ完了した。それに伴い災害特需に支えられていた地域経済に陰りが見え始め、加えて急激な少子高齢化により活気が不足して来ており、生活の回復に支障をきたしている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸道の整備や集団移転地への住宅再建、公営住宅入居などは完了した。ハード面の整備は進んだが、住宅再建した世帯はローンの返済、公営住宅入居者は家賃の支払いなど経済的には以前より苦しい世帯が多いと思われる。このため国保医療費の無料化は本当に助かっており、当面継続をお願いする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	生活は回復したと思う。 なので進捗状況としては変わらずである。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自粛の高まりにより回復が足踏み状態、あるいは後退した事業者が目立つ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	コロナウイルスの影響で地域経済が悪化しているので、生活にも影響がでてきている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	就労状況は回復したことにより生活は一定レベルで被災前と同様に回復したが、生活全般の消費状況は他の市町村に依存している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	住宅関連はほぼ復旧出来たのではないかとと思われる。(仮設も解体された。)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	知り合いの被災者の方からは、もうすでに震災のことについて聞くこともなくなったが、高台の土地はまだまだ空地があり、回復しているのかどうか分からなかったため。また、コロナウイルスによる休業要請により、震災にプラスして、打撃を受けた方もいるのかもしれないと考えたため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	前回までの回答は、回復した。進んでいる。としていたが、震災から9年経過して、被災者は高齢化が進み、亡くなる方もいるし、これからの生活に不安を抱いている方がいるのではないかと。まだ、若い方々の世帯は良いと思うが、高齢者世帯は大変だと思う。高齢者が買い物(食料等)のために自動車の運転をしているが心配だ。都会と違い、高齢になっても自動車を運転しなければ買い物ができない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	漁業関係者の設備等は、震災後、仕事ができる位にはなったが、人的問題や、自然環境、流通(コロナの影響)など、震災以外の要因も融合し、回復が進まないように思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	前回の回答から変化ないと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	鎌ヶ崎地区には店がないので、今度コンビニができてよいと思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興の工事は進んでいるが、被災からの年月がたつにつれて、住民の高齢化や人口減少の影響がどんどん進んでいる。地域がどんどんさびれていっている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ここ数年かけて東日本大震災で被害を受けた漁業者は、ようやく生産基盤が整備を終え生産活動に入り水揚げが進んでいたが、新型コロナウイルスによって、水産物の相場(価格)が下がり、物によっては、市場からの発注が激減し、所得が減収し、震災で家屋を失って新居の住宅ローン返済にも影響が出ている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナウイルスによって生活が回復していない。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住環境は進んでいるところは見られるが、心の傷の回復はなかなか進んでいないと思う。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災のためか、コロナのためか(コロナのためと思うが)生活が大変になったとか、収入が減って困っている方の話を聞く。
無回答	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	実際の話、被災前のような国道沿いに商店が立ち並び、人口が5000人に戻ることは考えられないので、被災前と比較した回復状況に関してはお答えしかねる。住環境の再建として見た場合は、ほぼ回復したと言っていいと思う。ごく普通の生活をみなさんがおくられてると思う。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	コロナの関係で経済は落ち込んでいるが、震災から地域経済は回復していると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	震災前と同じくらい活気だってきた。新しいお店も増え、以前の生活が戻ってきていると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	農業面：水田、畑等区画整備され、又、農業用機械の支援有り。生産性が向上した。(ex. JAへ米を、カゴメには加工トマトを買い取って頂いた。) 水産面：流失した漁船(8/9)支援を受け、小磯漁等が復活、以前のように収入を得られるようになった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災被害からはほぼ回復したが、最近のコロナによる経済的損失・影響が大きい。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	よくなっている。サケ、アワビが不漁で大変だ。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	宇部川地区のほ場整備事業がこの(今年度)7月で完成の予定。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	最近では震災による影響より、コロナウイルスによる影響の方が大きいと思う。地域経済は震災前も決して良かったわけではなく、そのころの経済状況を考えると、回復のレベルと感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	地域経済は被災前と同じくらいに回復していると思うが、震災後に県道が新しくできたので人の流れが変わり、地域の中心部の商店には買い物する人が少なくなっていると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年秋に道の駅がオープンして、これからという時、新型コロナで全国的に自粛になり、残念なことである。これでしばらく回復が大変だ。建設会社に勤めているが、仕事量も減ってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業の基盤整備等は回復したと思う。地域経済は漁業が中心で、サケ・イカ等漁獲量の減少により経済の落ち込みが心配される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	事業所などは借金など抱えて大変ながらがんばってきている様である。まだ完全に元の様に経済面では回復されてないと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	スーパーのお客様の賑わいが各店で見られている様に思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	住民の皆さんのほとんど毎日の生活は、日々の食材を買う位の繰り返しである。飲食店等もいよいよ再建を果し、これからと意気込んだ矢先、コロナ禍に遭遇し再建での金融関係等の問題など大変な事になっている様である。そんな中、地区の一部の人達がまとめて、お弁当を頼んだりしているホットな話も聞こえて来た。大工さん達も仕事上でコロナ禍のため一時資材が滞った事もあったとの事である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ここ1年位、特に大きな変化は見受けられない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の開通で、利便性は向上しているが、開通した事で、地域の商店に大きな影響が出ている。地元商店が賑わうイベント等が必要と思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	当地区の基幹産業である漁業の水揚げ減が続いており、漁業者は苦境に立たされているようだ。海水温の影響と中国・ロシア等の乱獲が原因と思われるが、抜本的な国の対応が急務と思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	空地がクローズアップされているが、市街地への店舗・事業所の再建は着実に進んでいると感じる。道の駅・津波伝承館の完成もあり県内・外から多くの観光客が訪れている(コロナ前)。観光施設、高田松原海水浴場のオープンも待たれ、市街地商業施設との往来を可能とする魅力あるまちづくりと交通網の整備が必要。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・不漁、不作続きで回復には至っていない。 ・公共工事が先細りする中で、コロナウイルスのダメージが大きすぎる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災からは、立ちなおってきているが、去年の台風19号とコロナで経済の方は、下火になって来ている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	当地区は震災もさることながら、台風被害が毎年のようにあり、影響を受けているものが震災によるものなのか、台風によるものなのか、よく分からない点はあるものの、復興道路の整備は着実に進んでいるから。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	・養殖の方は安定してきているが、多少のコロナ禍の影響が出ている。 ・サケの漁獲量が減っていることは定置網漁に従事している人にとっては大きな痛手である。 ・農林水産業においてコロナにより、どれだけ収入に影響が出ているのか調査をして、廃業することのないように配慮してもらいたい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	アワビ種苗の放流が出来なかった影響がここ数年出ている。サケ稚魚も津波、そして、たび重なる集中豪雨の影響により、放流数の減少などで、不漁が続いている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	復興に関する地域経済はこの9年間で進ちよくしていると思うが、去年の台風19号の影響と、新型コロナウイルス感染症の影響等で、震災以外のダメージが大きい。今後、地域経済はもちろんであるが、世界を含めた国の経済がどうなっていくのか大変不安である。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	市内の施設(市民文化会館・高田松原第二球場など)も完成し、様々な活用が図られ始めている。コロナウイルス感染拡大防止のため、使用に制限がかかったことは残念だが、これからに期待したい。(また、地域の飲食店等も、自粛解除を受け、回復を図ってほしい。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	店舗を再建したり、新たに建てたりして、だいぶ回復しているように見える。再建をあきらめた店もあるのが残念。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	自分が感じている限りでは、被災前と変わらず地域経済が動いているように見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	台風19号被害の方がまだ回復していない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	地域住民、行政も皆、経済の回復に向けて努力していると思われる。ただし、震災だけでなく、台風被害・コロナ被害等、地域経済の活性化には厳しい状況が続いているのだと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	新型コロナウイルスの影響で景気が悪い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・コロナ感染防止等の関係もあり、店舗を閉めるところが増えている。 ・コロナ関係もあり、特に建築工事で部品調達が遅れ、完成に支障ありの件数が多い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	親潮系漁獲高の不振。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町の商工業分譲地に建物が建ってきている。事業用の建物で地域活性化を期待している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復旧・復興工事の終了で工事関係の人が減った。商店・食堂、民宿等の客減が原因。漁業ではワカメ生産は良好も、ホタテの貝毒、ウニ漁の不振、新型コロナウイルスの影響でホタテ・ホヤの売価が安値続き。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復旧、復興が進み、道路も整理され、縦貫道の進ちよくに伴い、市街地での大型ショッピング店には出入りするも、小規模での店舗は、いまいち活気がない様に思われる。(人口減も影響)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	東日本大震災の影響という点では、回復したと言って良いと思うが。その他の要因(コロナウイルスも含む)で楽観できる状況ではない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナウイルスの影響で、震災後過剰投資した企業が体力が弱くなり、苦戦している状況。コロナの影響がなくても淘汰される可能性が高かったが、一段とスピードを上げた様相。コロナ収束後、国内の景気低迷は避けられないと思うが、県の施策としてインバウンドを考えていないのが気になる。温泉やスキーなど内陸部の誘致は行っているようだが沿岸部への誘致は見えてこない。規制緩和を行い、マリレジャーでインバウンドを狙ったなら、世界中から岩手に人が集まるのに、見てみない振りをしている。例えば200フィートのヨットが寄港しても停泊する場所がない。スポーツフィッシングを行おうとすると県条例違反になる。内陸と沿岸の均衡ある発展を阻害しているのは規制だった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	あいかわらず水産業の回復が遅れているように思う。地球規模の異常気象と相まって、外洋、近海、養殖それぞれが不漁となっており、この先回復するかどうか見えないのが大変だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	新型コロナウイルスの感染拡大の防止対策により、地域の経済活動が一気に冷え込み、苦しい状況が続いている。それに対する行政の対応策(給付金)や各事業所による工夫が活発になされているところであるが、コロナの影響の長期化が予想され、不安はぬぐえない。震災とは違った危機的要因のコロナの影響が復興に取り組む地域社会に色濃く影を落としている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	やや回復傾向になっていたものが、サケ・サンマ等の不漁により、また落ち込んできた様に思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナ禍で最近の地域経済は後退ぎみである。(震災とは関係ないが)。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	震災直後に比べ経済活動落ち込んでいると思う。コロナもあり、ますます進みが遅いと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	宮古トラウトサーモンという新しいブランドで、水産業が賑わっているように見えるが、サケやサンマはとれず心配だ。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	コロナウイルスの影響により、在宅ワークの動きも出ている関係もあり、目に見える状況なのか、判断が出来なかった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナで地域経済は大きなダメージを受けている。震災の影響ではないので回答に困っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	磯漁(ウニ・アワビ)が好調になっているが、サケは不漁で残念だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災面という捉え方をすれば回復したと言えると思う。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が地域の事業所にかなり影響を与えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	経済の観点からは1~2年前までは復興関連工事のおかげで町内飲食店、宿泊業者、建設工事関連とも活況を呈していたが、昨年あたりから復興関連工事もピークアウトを迎えたことに加え、三陸道の開通により町内が通過点となってしまったことが影響し、町内の経済も停滞感が強まっていると感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	建物などはできているが、人の流れがだんだん少なくなってきているので、3月から影響が出ているコロナがどうなるのか心配だ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	昨年と同じ町づくりになっており、経済もこれ以上良くなるのか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	農業、漁業の後継者問題を解決することが急務だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域経済が順調に回復したかに思えたが、コロナウイルスの影響により悪くなってきた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災において被災した水産業については施設などハード面のほか操業についても回復は進んできていると思われる。しかしながら、地域経済については新型コロナウイルスの感染に伴う一連の自粛の影響から観光と関連業種を中心として落ち込みを見せており、先行きが懸念されるものとなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	刻々と状況が変わる中、状況変化に対応できる者とそうでない者の差が激しくなるのではないか。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	・震災の被害状況からは、回復したと思う。しかし、漁業に関しては、サンマやサケの不漁ということを見ると、今後の経済に不安を感じる。 ・トラウトサーモンの養殖に期待している。 ・漁協(閉伊川)によるサクラマス稚魚放流にも期待している。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	商業の中心地は、かなり活気を取り戻していたが、外出を控えなければいけない震災と異なる要因で、また大きく落ち込んでいるのが現状。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナの影響もあり、震災の影響なのかコロナのためなのかよくわからなくなっている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災時と比べれば、買い物客も増え、回復していると実感していたが、今回のコロナウイルスによる休業要請により、休業したり、営業時間を減らしたり、テイクアウトにしたりする企業が目についた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	(1)三陸沿岸道路の開通によって、中心部は近隣地域をまきこむ回復をみせていると思う。しかし、同市でも高齢・過疎地区では、スーパー等の閉店が相次いでおり、差がみられる。よって、どちらともいえない。 (2)(1)と同じ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	温暖化の為なのか、海水温が高いためなのか、魚介類が獲れないようだ。養殖ワカメも良くないようだ。また、菌床シイタケも経営が大変だと聞いている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	駅周辺の活気がとり戻せないと感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災の影響だけではない様々な事柄が要因となり、経済がなかなか回復しないように感じる。(少子高齢化・コロナ等...)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災に関しては、前回回答からあまり変わらないと思うが、コロナ関連で休業しなければならない職業がありやや後退と感じる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済に少なからずプラス効果を及ぼして来た、震災復興事業関連の建設会社等が本年8月以降までに田老地区から撤退し、残るは防潮堤や乗り越し道路の建設工事のみとなる。地域の商工業者が、店舗や事業所の再建・本設を果たし、本格的に事業再開に向け、動き出している状況においては、景況の下プレをもたらすものと思われる。地域の人口が6割強まで減少し、事業所数も4割までしか再建できなかったうえに、新たなコロナウイルス感染症の影響により、地域経済は東日本大震災に続く、第2波の難局を迎えることになると思われる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災での被災された方々への国からの助成も終り、現在発生している新型コロナウイルスの影響が各界にダメージを与えており、国からの支援はあるものの、一時的なものであり、特に事業主の今後の経営に大打撃を与えていて、先の見えない現況では、事業の廃業に追い込まれる状況にある。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	水産資源が増えてくれないことにはこの地区の回復はありえない。まさかの新型コロナウイルスによる追い打ちもあったので、廃業も選択肢に入れて事業の方向性を早めに決めたいと思っている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	震災特需によりある程度集客があったところも復興関係工事等が少なくなり、震災前よりも厳しい状況にあるのではないかと思います。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林水産業の漁船、農地の整備整備は完了し、事業所に対してもグループ補助金等の支援がなされ、生産設備等の再建が図られたが、漁獲量の減少が続き設備の有効活用ができない状態に加えて、今回の新型コロナの影響が地域経済の回復の重大な支障になっている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農業、漁業では農地の災害復旧、漁船、漁港等の災害復旧は完了している。しかし、二度の台風被害や、漁業の不漁が続き、あまり回復しているとは感じられない。また、新型コロナウイルスの影響による観光、宿泊面での影響も大きい。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災前の受注状況には達していないようだ。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・地域経済は域内の主要産業である建設業、水産加工業を中心に震災前以上の水準に回復した。 ・反面、建設業は復興工事、台風復興に依存したものであり、水産加工業はコロナの影響により足元の経済状況は、それ程芳しくない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災とは、関連しないが、新型コロナウイルスの影響により、地域経済がまた落ち込み始めた。特に、宿泊、飲食関連の落ち込みがひどく、それに関連する業者も影響を受けている状況。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)今回のコロナウイルスのため、農林水産業漁が不漁により、ウイルスによって販売も定価が安く、全く全体大変な日々である。地域経済がいまだかつてない苦しい様子である。支援がまだまだ必要だ。すべての仕事。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	農業・漁業については、先行きが心配。特に漁業(水産業を含む)は、水揚量が激減しており、また、働き手の高齢化が加速しているため、危機的な状況と感じている。一方、脱炭素社会が進展する中で再生可能エネルギー産業に関しては、バイオエネルギー向けのチップ生産が盛んになってきており、林業については上向いている。ただ、伐採のスピードが上がることで、森林保全の問題も発生することも予想されることから、「森と海」という観点からも、計画的かつスピードをもった植林等の対策が必要ではないか。その他、三陸道が今年度完工することで、打撃を受ける業者が多い。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業については、サケの不漁が目も当てられないほどになっている。ここへ来てワカメもコロナの影響で大変なことになっている。漁協の経営も深刻になっている。働き方改革などと言っている所なのか？
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	加工業だけが再生出来て生産者が取り残されているような気がしている。一次産業は衰退する。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	前問と同様に、自然環境の異常もあり、水産業の不漁、大雨による水害など、色々なことが地域経済悪化に関係していると思われるので、震災のためなのか分からない状態だ。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	当陸前高田市の防潮堤工事はまだ完了しておらず、もう少しの所には来ている。現在整備されている防潮堤は、高い頻度で来る津波には対応(防ぐ)は出来ると思うが、最近マスコミ等で発表されている、北海道からオホーツクで発生が予想されている津波の高さは20m以上と言われており、現在岩手県では、まだ、この件の津波予想高は発表していないようであるが、沿岸地域に住む住民にとっては、不安な状況にある。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・高田松原だった所への防潮堤の完成と気仙川川口の防潮堤の完成である。気仙町今泉地区の水面より10.5mの嵩上げ工事が、ほぼ完成に近く、嵩上げ地盤の堅い事だ。建築業者さんの話だ。今自分で杭を打込時も堅い。ありがとう。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	防潮堤や道路の整備も着実に進んでいる。 避難場所の提示も各所でされている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防波堤、道路網整備は完了し、津波防災の面では充実し、高規格道で総合病院への通院時間が大幅に短縮された。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はできたが、手すり等がなく実際に人命を救助できるかは分からない。 完成したものの、未だに訓練が行われていない。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	よくなった。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	浜の防潮堤はだいぶ完成してきている。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	・地域の防潮堤工事及び災害からの新ルートの道路等が建設・整備されている。但し、台風19号の被害を考えると、海からだけでなく山からの水による災害の恐ろしさを感じている。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤等が完成し、津波対策も万全となったから。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	久慈市はもう達成されていると思う(この半年はコロナの影響もあり、特に何もやっていないように思う。)
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防潮堤はほぼ完成し、安心して暮らしていると聞く。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興道路の工事も進み、水門の工事がまだまだ先である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門等の工事は現在も行なわれているが、大部分で出来てきたと思われる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防災集団移転、高台移転(自力再建)。災害公営住宅が完成しているが、防潮堤工事が一部残っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	コロナ問題もあり、建設工事等の歩みが遅い気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事も進み災害に強い安全な町づくりの形は見えてきたが、完成まではもう少し時間がかかりそうである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町内(山田湾・船越湾)の防潮堤工事はつづいている。完成まで2・3年かかると思われる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤がまだ完成されていない所がある様だ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	山を削り安全地に素晴らしい住宅が密集して再建された。落ち着いた今、商店がなく、買い物には足が無いなどその都度タクシーと言う方も少なくない様である。又防潮堤、門扉の工事が完成してから再建するとの方もおられる。自然の恐ろしさに安全に安全を見極めてからのこと。納得がいく。住民の足である三陸鉄道も震災から這い上り、住民の歓声と共に走り出してすぐ台風19号に阻まれ工事で暫く休止、いよいよ運行となって今度はコロナウイルスで乗客が無く、それでも頑張っって皆に元気を見せている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤はまだ工事中で、完了はまだまだ先と思える。高台移転が成されたので、その部分では、以前よりずっと安心。未曾有の災害は今後もあり得るので、とにかく避難することは忘れないようにしたい。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	家の近くの防潮堤も目に見えて工事が進んできた。道路のかさ上げがまだ済んでいないエリアもあるが、少しずつ工事はやっているようだ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤・自動車専用道路が目に見えて出来上がってきていた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤は工事中の段階なので、まだ時間がかかりそうである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤、インフラの整備は大分進んだが、震災の風化が見られる。防災に対する意識が薄れてきているように感じるので、意識を再度高めることが必要。インフラに防潮堤にばかりたよっては、又、おなじことを繰り返す。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	立派な堤防ができたと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤の建設が進み達成してきているとは感じる反面、海が見えず複雑な心境になる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	昨年度でハード面の工事は全て終り、当初の計画は達成されたと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	日々、三陸復興道路の工事が進んでいる。ダンプカーの台数が多く市内が渋滞し困っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	・三陸道が開通することで安心感はある。 ・津波に限らず、大きな自然災害が多数発生している現状があり、さまざまな災害に対応した総合的な計画や、建設が必要と思う。(津波に特化したまちづくりになっていないか?)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はほぼ完成したが、昨年の台風19号の被害からの復興がこれからである。最近、発表された北海道・東北沖の地震予想があり、完成した防潮堤の効果がどの程度のものかが気がかりである。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	まだ未完成の事業がある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡湾沿いの防潮堤工事は着実に進んでいるが、完成にはまだ時間を要すると感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	町内に建設中の防潮堤も完成後の外観がイメージできるまでになってきている。加えて昨年の台風19号による豪雨被害を教訓とした災害対応工事も着実に進められており、災害に強いまちづくりは前進していると感じている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤工事は進んでいるが、一方で毎年大雨による災害が発生している。十分な予算と万全な防災対策が必要と感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	三陸道も完成に近づいている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の防潮堤が完成しそうである。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	新港の沖の波消テトラ投入、かさあげの工事に取りかかり現在進行中。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路の工事が進み、完成間近になって来ている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	沿岸の防波堤や堤防については修復が完了しているものと思われるが、平成28年の台風10号の被害が大きかった小本川流域では、現在河川工事が盛んに行われており、堤防の完成にはもう少し時間がかかるものと見られる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	施設・湾港の工事などかなり進んでいる。浸水地に多く建物が建っており、このような都市計画で本当に良かったのか、最近疑問に思うことが多い。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備、道路の整備も着実に進んでいると思う。ソフト面ではこれからの部分もありますが、ハード面では充分災害に強いまちづくりが進んでいると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	近年危惧される自然災害は数多くある。地震・津波はもちろん、台風・大雨による洪水、土砂災害、山火事そして熱中症など、気をつけていかなければならないことは多い。自分で自分の命を守るための知識や技能を学校や職場、自治体などで身につけられるよう、互いに連携していかなければならないと思う。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	野球場、サッカー場も完成しつつある。また、道路の整備も進んでいる。工事の完成度のパーセンテージも上がっている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の整備や津波復興祈念公園の整備が進み、ハード面での“安全”は目に見える形で進んでいるように感じる。それに加えて、ソフト面での“安全”についてより進めていくことが大切だと思う。(小・中学校での防災教育の充実・市としての避難(防災)訓練の充実・震災経験の伝承他)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤もあと一歩のところまで進んできた。海開きに間に合わず残念だ。来年こそは、防潮堤が完成し安全な中で海開きが行われることを切望している。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤がまだ完成していない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈湾口防波堤の建設状況を市広報誌などで継続的に情報提供して頂けると安心できる。同時に閉鎖水域の汚染も気になる。環境アセスメント(湾内)を見える様にしていると安心できる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	三陸復興道路が着々と区間開通していることから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤、避難路の整備等ほぼ完了されつつある。現在、進められている復興道路も日に日に進み、地域は大型トラックの往来や大がかりな工事が見られる。完成が待ちどおしいと同時に、完成後のこの地域はどう変わっていくのか想像ができない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	津波に関する事はほぼ達成できたように感じるが、最近の台風からの大雨等への対策が不十分で、また雨が来たらかなり不安である。ただ、津波に関しても30m級の波が来るかも。。。と、予想されているので、そうすると今のまちづくりでは不足かもしれない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	近くにグリーンベルトが出来、避難道路が開通はしているが、よくわからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の復旧、かさ上げ、住民の高台移転等、今後の起きうる災害を想定して対策を取っている。津波のみならず、台風による風水害対策については、まだまだ懸念すべき点は多く見られるので、十分な意見、対策を取るべき。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナ対策「三密の回避」「あたらしい生活様式」に則った防災まちづくりが必須であるが、対応が追いつけない現状。今後期待したいところ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	まだ、防潮堤が完成していないので、この回答だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防波堤が完成しないととは思っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	閉伊川水門は遅れての完成となるのは、少し心配だが、道路はかなり完成したところが多く、安心感がある。だが、住民の防災意識は少しうすれてきている気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤も新しくなり、海が見えなくなったが命のためならいいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	・復興道路が完成に向けて進んでいる。 ・家から見上げて、良かったと思う反面、環境の変化にとまどっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	インフラ整備の完成迄、状況の判断は難しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は時間がかかる。進んではいるんだろうけど、あまり、進んでいるように見えない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	まもなく完成に近づいているのと、まだ出来上がっているわけでないのと、まわりの整備もまだまだできていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	町の広報によると防潮堤の工事は来年3月の工事完了になっており、ようやく安心出来る町になってほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈市内の場合、台風災害が毎年のようにあるが、地形・地勢によって何ともならない部分があるから。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤などは進んでいる。しかし守るべき地域はどんどんさびれている。なにを守るのか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	一部不十分な地域が残っているが、防潮堤の整備や避難場所の明示により、一定程度は進んでいる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	防潮堤など次々に完成してきたものの、毎年のように起こる「想定外の災害」への恐怖感は年々増している気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤ができてきているが、すぐそばに飲食店が建設されていて、避難するときはどうするのか心配になった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	(1)「東日本大震災津波からの復興」ということに限れば、防潮堤等の整備が進み、達成へ向かっていると思う。しかし、「災害に強い安全なまちづくり」として考えると他の自然災害対策はまだまだ追いついていないと思う。台風19号では、砂防ダム付近を流れる小さな河川があふれて古い家屋が流され、又、橋の設置面が流水の影響でボコボコになったまま、今も放置されているなど、手がまわっていないことがわかる。 (2) (1)に同じ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	台風19号被害を見て、様々な災害に対応しなければならないと感じた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤ができたり、盛土して公園を作るなど環境作りはできているが、津波の被害を受けた場所に自宅を再建しているところがあり、今後、また、大きな災害があった時のことを思うと不安がある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	津波災害の整備・工事途中に台風災害による影響・被害があったが、工事もせず、そのままの場所があり危険だ。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	未だに地域の公民館施設が復旧しておらず、地域のイベント等が行えないために住民の繋がりが希薄になり、犯罪抑止や災害時の避難行動が不安に駆られる。地域では7割超の高齢化世帯数の為、建設費用も捻出できず、このままでは、支えあいや助け合いが出来なくなる可能性が高い。災害時にはこの地域の防犯組織が中心となって避難所を運営したが、現在はそのようなことは不可能は状態になっている。このような地域は他にもあると思うので、自治会活動が促成らない地域において、自治体の職員による自治会運営が必要になる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤の状況は、あまり進んでいないとも感じていたが、見ているものが見えなくても進んでいると思い(2)③にした。(1)の災害に強い町づくりは、津波より台風や豪雨災害の優先をしても良いのでは?と思い④を選んだ。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	津波対策の防潮堤は完成した。しかし、台風に対する対策は遅れており、東日本大震災、平成28年台風10号、令和元年台風19号と3回も被害にあった世帯もある。避難のための訓練やハザードマップの周知などのソフト面での対策と台風による内水氾濫のハード面の対策が必要である。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	堤防未完成、水門も水害による被害により工期延長になっている。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	台風、大雨に対する災害対策を強化した方が良い。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備は進んでいると思うが、閉伊川の水門に関する問題が気になる。また、完成したときの効果がどのようなものなのか、防潮堤と水門の関係というか、付近の地域の津波が起きた場合の状況が分からない。北海道付近の地震による30mを超える津波対策はどうなっているのか疑問である。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	令和2年1月の調査の回答と同じのため。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	大きいせいか防潮堤の完成が見えてこない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)綾里港海岸防潮堤整備工事は、まだ復興工事道中ばである。 (2)白沢海岸、防潮堤その他の工事が完成した。ただ地域の役員の皆さん、市役所へ崖対策どとめをお願いしているがなんの連絡もなく心配である。何とか、住民の安全の確保を目指して願います。

令和2年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

令和2年9月14日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現を改めています。)